

令和6年度 第1回名寄市中小企業振興審議会会議録 (要旨)

開催日 令和7年3月27日(木曜日)

開催場所 名寄市役所 名寄庁舎 4階 第一委員会室

出席委員 審議会委員 会長 藤田 健 慈
副会長 中 尾 公 一
委員 高 橋 能 朗
委員 多 田 和 隆
委員 千々石 奈穂美
委員 遠 藤 和 之
委員 石 田 雅 子
委員 宮 窪 喜代美
委員 鎌 塚 英 明
委員 松 前 聡 美
委員 今 野 聖 人

名 寄 市 山 田 経済部長
櫻 田 産業振興室長
池 田 産業振興課長
木 下 産業振興課主査
高 橋 産業振興課主事

～ 下記のとおり審議会を開催いたしました。 ～

1 開会 14:00～

2 挨拶

【藤田会長】

報告事項にある中小企業特別融資制度・振興条例関係補助金の関係は、前回見直してから今年で丸3年となり、その結果も含めて皆様からご意見をいただきたい。

ご承知のとおり、名寄市内の中小企業も20件ばかり、相対的には2割から3割減り、特に飲食店関係が多く減っている状態である。

様々な要因があるかと思うが、この会を通じて市内事業所が前向きに発展するようお力添えをいただきたくお願いしたい。

3 報告事項

(1)「令和6年度名寄市中小企業特別融資制度・振興条例関係補助金の実績」について (事務局より説明)

【藤田会長】

只今の事務局からの説明に対して意見・質問はあるか。

【高橋委員】

コロナ緊急融資に関しては、3億1千万円の融資額があり、1月末現在でまだ2億7千万円が融資されているということか。コロナ融資の返済期間も短いのでは。

【事務局】

そのとおり。残高としてまだ残っているということ。
返済期間は最長で10年の設定となっている。

【高橋委員】

10年あれば大丈夫ですね。

【藤田会長】

融資が返済できず、倒産が増える事業所もあるのではと心配されたところだが、名寄では大きな影響は今のところないとのこと。

人手不足の関係も当然あるが、新規開業に関連した貸出件数が非常に少ない。

名寄だけに限ったことではないが、なかなか新しい産業が生まれない。

事務局からの説明では、この3年間に1度も利用のなかった事業は見直すとの話であったが、再度該当事業と今後の考え方について確認したい。

【事務局】

8番「トライアル支援事業」、12番「就職促進支援事業」、13番「退職金支援制度」が利用のない事業に該当。基本的には、今の実態問題として名寄市に合っているものなのか検証させていただきたい。なお、市の財源も限られていることから、人手不足にも有効活用できるよう、審議会に諮りながら検討していきたいと考えている。

【藤田会長】

最近は新規開業が少ないので、トライアルで開業するなど条件が合えば、やり方含めて可能性はあると思う。

名寄は転勤者や単身者が多く、その方々から昼ご飯を食べられる飲食店も少ないと聞かされる。若い人が開業しやすい環境づくりが必要と思うが、皆様方からご意見を伺いたい。

【高橋委員】

9番の事業承継支援事業で1件あったと思いますが、こちらは上手くいったケースでしょうか。

【事務局】

相続税の猶予期間を設けられる制度があったと思いますが、税理士さんに関わりもあり、承継された案件でした。

【藤田会長】

事業承継で条件にマッチしない、継承者がいないというのが多分一番の原因。市内に必要な業者がいなくなっていくが、市外から来ていただくにはどんなことが必要であるか議論したいと思います。

【高橋委員】

関連して、この場ではないかもしれないが、空き店舗をリノベーションするとか古い住宅の解体費用の1割でも補助することでもできると良いのでは。

【藤田会長】

家賃補助もあるが翌年の支出になる。また、リノベーションも理解できるが、撤去する際には元に戻すことになるので費用も嵩む。

そこの難しさをどう解消するのが難しい。

若い方に新規事業を行ってもらうには、少ない資金で創業できることが必要と思います。このようなご意見をいただきながら、見直しに向けた判断材料にしていきたい。

【事務局】

人手不足と移住政策をどうリンクしていくかとの話になってくるのかなとは思う。単独でこういう補助金がありますと言っても、誰も来ない。

【藤田会長】

会議所では、名寄で足りない業種に対して、家賃含めて補助金のメニューも全部並べてやりたい人いませんかという情報を発信しながら、人を集めるような取り組みをしようと思っている。加えて、今は伴走型支援が大事と言われているので、マネジメント含めて支えていきたいと考えている。

【多田委員】

新規創業を支援する仕組みを0から1を作り上げることは大事なことと思う。

もう一つは、事業承継で1が0になるのを防ぐ取り組みも必要。

ただ、1を2-3にする取り組みが市の補助制度を活用してできれば良いと思う。

例えば、東北地方では、県と基礎自治体が連携して、リモートで東京の専門家からアドバイスいただく事業に補助金で支援する事例がある。

もう一つには、募集しても地域には人がいない。人手不足の隙間時間を埋めるためにも一企業では難しい。市、商工会議所と一緒に、その地域を盛り上げるための施策と一緒に打たないと効果的でもない。近隣の自治体とか、北海道内の自治体に強みをアピールできるかというところをもっと考えないといけないと感じる。

【千々石委員】

商店街で営業している若者がいない。役割を代われる人もいない。

高齢者が多いが、せっかく店舗もあってまだ活用できる。普通に「空き家あります」みたいなポスターも貼っていないから気づかれない。創業したい方との橋渡しができれば、上手く結びつき、少しでも賑やかになれば良いのかなと思う。

【藤田会長】

補助金だけの問題とかなさそうな感じもするので、中小企業振興審議会として方向性をしっかり考えながら補助金の在り方を議論していければと思います。

【遠藤委員】

今、最低賃金等が上がり、ニセコではもう何千円というすごい金額になっている。田舎の中小企業には、本当にもう賃金上がるだけでも精一杯なので、今後、賃金を上げたお店に助成できる仕組みがあればありがたい。

【事務局】

最賃を上げた分に対しての補填となると、そういうのは基本的に補助金ではありえない。ただ、今、国の方は賃金を上げると様々な補助率を上げる政策はやっている。

【藤田会長】

今の話は非常に重要で、大手はすごい勢いで賃金を上げている。大手は強いから、もろに転化できるんです。ところが、転化できない中小零細企業は非常に大変で、人が消えてなくなったわけじゃなくて、給料の高いところに移動しているわけ。なので、全体の賃金を上げた時だけでも時限でいいので、奨励金などを支給する制度などがあっても良いと思う。

【高橋委員】

うちには大学生にバイトに来てもらっているが、最賃が上がったから、その人たちの給料は毎年上がっていく。正社員として何十年も働いている方に関しては、本当に上げられない状況で、自分の給料を下げているが、もうなかなか厳しい。

そういった無理してでも社員の給料を上げようとする零細企業に対して、少しでも補助金があったらありがたい。

【鎌塚委員】

9番の事業承継支援事業の内容は、承継するための相続税に関する費用的な補助でしたか。それとも伴走的な感じでしたか。

【事務局】

中身としては、税理士さんに依頼する株価評価とか、事業承継計画策定にかかるコンサルタント料とか入り口のところにかかる費用を対象にしています。

【鎌塚委員】

後継者にあたる人が技術を身につける、能力が生まれるのは、最低でも1年間は要すると思うので、そこに伴走支援するような補助があれば、中小企業でも技術と店舗が維持できるのではないのでしょうか。

【藤田会長】

いきなり承継しても、技術の習得に時間を要する、例えば製造業や左官業などに関しては、特定業種みたいに定めて補助するというのも意外にありかもしれない。地域おこし協力隊も農業だけでなく、商工業など地域の後継者を守るために活用する可能性も全然ありかと思います。

人口2万人切ると業種は半分くらいになる。しっかりとこの地域を守るためにも、産業を守っていかなければ成り立たないと思っている。

-----その他意見・質問なし-----

(2)「名寄市雇用促進協議会の創設」について（事務局より説明）

【藤田会長】

事務局の説明に対して意見・質問はあるか。

市立大学の学生には、今年度から新たに設けた奨学金返済支援補助事業を積極的にPRいただくと響くものと思うがいかがか。

【今野委員】

ホームページからでの情報発信はもちろんですが、今、ほとんどの学生はインスタグラムをメインにSNSを活用して情報を入手している。

【事務局】

学生の発信力はすごい魅力的なので、何をどうアピールするか明確にし、アイデアを含めて学生にもご協力いただきたいと思います。

-----報告事項・意見等なし-----

(3)「北海道GX地域未来投資促進基本計画」について（事務局より説明）

【藤田会長】

事務局の説明に対して意見・質問はあるか。

-----報告事項・意見等なし-----

【藤田会長】

今回は報告事項が多かったので、次は基本計画のような新しい補助金内容が示されるようでありますので、皆様からのご意見をしっかりといただきながら、決めていきたいと思います。本日はこれで議論を終わらせていただきたいと思います。

5 その他

【事務局】

本日は年度末のお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。

委員の皆様におかれましては、今月末で審議委員の任期満了となりますが、次回も引き続きお願いしたいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願いします。

-----その他・意見等なし-----

6 閉会

【中尾副会長】

藤田会長の発言からもありましたとおり、色々な面での情報発信を行い、多くの方々に名寄市で住みたいと思っていただき、人口が増えればと今後も期待しております。以上をもちまして、中小企業振興会審議会を閉会いたします。